

入院療養計画書
 主治医 (印) 看護師長 担当看護師 管理栄養士
 担当医 年 月 日 患者または代理氏名
 病名: 症状:

病棟 号室
乳房切除術を受けられる パス テスト001 様へ

患者番号: 0008985093

病室入り口への氏名表示に同意 (する・しない)

薬剤指導を (希望する・希望しない)

特別な栄養管理の必要性 (あり ・ なし)

	入院1日目 手術前日	入院2日目/手術当日		入院3日目 手術後1日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目~11日目	退院日
		【手術前】	【手術後】		手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目~9日目	
内服	・入院中は持参の薬を飲むか当院で処方する薬を飲むか、医師が判断します。入院前に飲んでた薬がある方はお申し出下さい。	・もともと飲んでいる薬の中で、手術当日に飲む薬がある場合は、看護師がお持ちします。医師の指示により中止する薬もあります。		・もともと飲んでいる薬がある場合は開始となります。 ・痛みがある時は鎮痛剤が飲めます。	・痛みがある時は鎮痛剤が飲めます。				・薬が出る場合もあります。
注射		・手術の順番が2番目以降の場合は点滴をします。	・点滴をしています。	・24時間の点滴は食事が半分以上食べられれば終了です。	・血抜きの方が抜けるまでは、抗生剤の点滴を1日2回行います。				
受診・検査	・午後、麻酔科受診があります。 ・手術室の看護師の訪問があります。	・手術室で全身麻酔下で手術を行います。 ・手術入室予定時間(:) ・入室30分前にトイレを済ませT字帯を履いてお待ちください。							
処置		・指輪、腕時計、眼鏡、コンタクトレンズなど身に付けているものははずしてください。 ・手術の30分前になりましたら、T字帯をつけ手術着に着替えて手術室に向かいます。	・酸素マスクがついています。 ・足に血栓予防の機械がついています。	・尿の管を抜きます。	・胸に入っている管を医師が抜去します。排液の量などによって、抜去の日には異なります。胸の管が抜け、体温や創部が問題ないことが退院の目安となります。				
静行度動範囲	・病棟を離れる際は看護師に声をかけてください。	・手術までは制限はありませんが、病室でお待ちください。	・翌朝までベッド上安静です。	・状態が安定していれば看護師の付き添いなく歩行でき、安静に制限はなくなります。 ・胸に管が入っている間は手術をした方の腕は肩より上に上げないようにして下さい。					
安									
排泄	・シャワーに入して下さい。		・尿の管が入っています。 ・排便の場合はナースコールでお知らせください。	・体を拭いて着替えます。 ・尿の管を抜いた後、尿が出たか、残尿感がないか確認します。	・胸に入っている管が抜けるまではシャワーに入れません。体を拭くタオルをお渡しします。洗髪も看護師が行います。管が抜けた翌日からシャワーに入れます。				
食事	・食事の制限はありません。	・手術当日は絶飲食になります。食事は 月 日 時 水分は 月 日 時までです。		・食事は朝食から始まります。					
説明・指導	・看護師より治療のオリエンテーションがあります。治療に必要な物品の説明と同意書の確認をします。 ●必要物品● ・リブバンド1枚 ・ワンタッチT字帯1枚 ・ストロー1本	・手術当日は時間外面会ができます。 ・手術室へは家族の方は入ることができませんが、手術室の前まで一緒に行く事ができます。その後は病室やデイルームでお待ちください。場所を離れる際は看護師に声をかけてください。	・看護師が状態を観察するために頻回に訪室します。 ・患者さんの状態によっては家族の方に付き添いを依頼することがあります。						・退院指導 ・退院日に診察券、再診予約表票をお渡しします。 ・会計は退院当日、医事課担当が請求書を病室にお持ちしますので、窓口でお支払をお願いします

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わることもありますので御了承下さい。2) 入院期間については現時点での予想される期間です。山梨大学医学部附属病院TEL055-273-1111平成27年12月改訂